

事務事業評価表

平成14年度	主要事業計画対象の有無	無	電話	042(769)8355
担当部課名	保健福祉部	障害福祉課		
事務事業名	福祉タクシー利用料助成		事業コード	11310

1 総合計画における位置づけ

政策名	第1章	安心して生活できる福祉社会をつくります	事業開始年度
基本施策名	第3節	障害者の自立支援と社会参加	~63年度
施策名	第1施策	自立した生活を実現するための環境づくり	

2 実施根拠及び関連法令等

市在宅重度障害者福祉タクシー利用助成要綱

3 事業概要

(1) 事業の目的 在宅の重度障害者の積極的な社会参加及び生活圏の拡大を進める一助として、タクシーの利用を図ることについて、福祉タクシー利用助成を行うことにより、重度障害者の福祉の増進を図ることを目的とする。		(2) 対象(誰、何) ・身体障害者手帳1・2級 ・療育手帳1・2級 ・知的指数A1・A2 対象数 11,684人	
(3) 平成13年度事業の内容 ・協定締結事業所数 74社 ・平成13年度決算 対象者数 11,684人 交付者数 7,014人 交付枚数 445,320枚 利用枚数 345,833枚 所要額 174,561,500円 ・助成内容 500円券×72枚=36,000円		(4) 総合計画・実施計画における概要 なし	
(5) 個別計画の概要 計画名 相模原市障害者福祉計画 計画年次 10年度~22年度 相模原市障害者福祉計画に基づき、住み慣れた地域での自立生活を支援するため、重度障害者に対する在宅福祉サービスを充実する。			

4 評価指標

指標名	福祉タクシー券交付枚数における利用率		
指標式	利用枚数 / 交付枚数 × 100		
指標設定の意図	交付枚数に対する利用率		

5 目標と実績

〔金額単位：千円〕

	平成11年度	平成12年度	平成13年度(評価対象年度)		平成14年度	
	実績	実績	実績	目標	目標	
指標	77	78	a 78	b 100	100	
指標			c	d		
指標			e	f		
事業費	決算(予算)額	129,092	148,246	174,562	173,906	196,416
	人員・時間数	(1.0人・462H)	(1.0人・462H)	(1.0人・462H)	(1.0人・462H)	(1.0人・462H)
	人件費	1,230	1,230	1,230	1,230	1,230
	その他経費					
	合計	130,322	149,476	175,792	175,136	197,646
特定財源						

6 個別評価

(1)達成度…目標をどれだけ達成したか			
評価 C ▼	A : 達成している (100%)	= 、 、 の平均値 = 78.0%	
	B : 一部達成していない(100%> 80%)		
	C : 達成していない (80%>)		
$\frac{a}{b}$	$\frac{78.0}{100.0} \times 100 = 78.0\%$	$\frac{c}{d}$	$\times 100 =$
$\frac{e}{f}$	$\times 100 =$		
理由 :	タクシー券の交付(年間72枚)を受けた障害者がタクシーを利用する頻度は、それぞれの生活や障害の状況により異なるため、使用する枚数に個人差が生じ、結果として利用率は下がる。		
(2)必要性…時代変化に適応した事業内容か			
評価 A ▼	A : 適応している	理由 :	自立支援と社会参加には必要である。
	B : 一部適応していない		
	C : 適応していない		
(3)経済性・効率性…費用対効果は妥当か			
評価 B ▼	A : 妥当である	理由 :	電車、バス等通常の交通機関が利用できない在宅重度障害者の経済的負担を軽減し、福祉の増進に寄与している。
	B : 一部妥当でない		
	C : 妥当でない		
(4)事業の代替性…県、民間との役割分担のあり方から見て、市が実施していくことが適当か			
評価 A ▼	A : 代替の可能性ない	理由 :	扶助の性質上、市で実施することが妥当である。
	B : 代替の可能性低い		
	C : 代替の可能性高い		
(5)市民満足度…対象市民の満足は得られているか			
評価 B ▼	A : 満足できる	理由 :	障害者の自立支援と社会参加のための支援として満足を得られているが、タクシーを利用しない障害者と均衡を保つ必要がある。
	B : 一部満足できない		
	C : 満足できない		
(6)有効性…当該事業は上位の施策を実現する上で有効か			
評価 A ▼	A : 有効である	理由 :	障害者の自立支援と行動範囲の拡大のためには有効である。
	B : 一部有効である		
	C : 有効でない		

<p>評価バランスチャート</p>	<p>成果向上の余地</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ある</p> <p><input type="checkbox"/> ない</p> <p>説明 : タクシーを利用しないで、家族運転の自家用車で移動する障害者との均衡を保つため、家族運転の場合の燃料費助成拡大の検討。</p>
	<p>コスト改善余地</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ある</p> <p><input type="checkbox"/> ない</p> <p>説明 : 毎年障害者人口が増加しているため、事務の簡素化、コスト削減を図る。</p>

7 総合評価

評価 A ▼	他自治体の類似事業との比較	横浜市 660円券 × 72枚 = 47,520円
		川崎市 660円券 × 72枚 = 47,520円
		海老名市 500円券 × 84枚 = 42,000円
		厚木市 600円券 × 48枚 = 28,800円
		横須賀市 600円券 × 48枚 = 28,800円
今後の進め方		
<input checked="" type="checkbox"/>	継続	説明 在宅の重度障害者の社会参加と生活圏の拡大を進める一助として欠かせない事業であり、事業を継続していくことは有効である。また、タクシーを利用せず、障害者を支える家族によって移送している場合について、燃料費助成の拡大等を検討し、障害者の移動方法の多様化に対応していく。併せて、今後タクシー券交付対象者や利用率が増加していくことを踏まえてコスト改善を検討していく。
<input type="checkbox"/>	見直し	
<input type="checkbox"/>	廃止	
<input type="checkbox"/>	完了	

8 二次評価における変更点

・タクシー利用者と自家用自動車利用者等との不均衡などから、制度内容の見直しを検討すべきである。